

科 目 名
専門英語 I Steel Structure Exercise I

4年 前期 2単位 選択

横 堀 肇

概 要

建築の専門家として必要な英語とは、読み・書き・話すの三拍子がそろった英語の基礎力である。国際化が急速に進む日本社会にあって、一定レベル以上の技術者にとって、英語の基礎力の重要性はますます高くなる。基礎力の養成のため、英語としては基本的な文法にとどめ、身近な分野の文献を通じて、英語のまま内容を理解させるように試みる。

学習目標

- ① 正確に読み・書き・話すことができるバランスのとれた基礎能力を養成する。
- ② 英語を母国語とする人のような美しい表現や発音の能力獲得は目標としない。
- ③ 世界中の人々と正確にコミュニケーションができる能力の獲得が最終目標である。

授業計画

“A Quick Look at Housing in Japan” という住宅・建築分野を英語で解説した文献を教材とする。この教材は次に示す3章18項目からなるが、すべての項目を学習することは目標としていない。聴き取り力・読解力を養成することを目的とするので、進み方は学生の能力によって変化する。

Chap. 1 Land and Population

・ Land, Climate, Population, Industry Cities, Life style

Chap. 2 Housing Situation in Japan

・ Typical Residential Areas, Present Housing Situation

Chap. 3 Housing Policy in Japan

・ Basic approach to housing policy, Public housing

Housing tax system, Urban renewal, New residential towns

Housing to elderly, Housing production, New housing

City planning and building administration, International cooperation

授業方法

配布プリント（和文と英文）に沿って授業を行う。指定した予習箇所の内容を読み解き、講義中に和文と英文の相方を音読させると共に、その内容を発表させる。その上で、英語により簡単な質疑のやりとりを行わない会話力の向上にも努める。

学習到達度の評価

- ① 教材が解説文であるので、音読後の英会話の中で達成度を評価する。
- ② 教材の内容理解だけでなく、大きな声ではっきりと音読する練習も重視する。

評価方法

音読の割合30点、中間テスト20点および定期試験50点として判定する。

教 材

プリント（“A Quick Look at Housing in Japan” よりの抜粋）

履修上の注意

この授業科目は、将来、特に建築に関する技術者として国際的に活躍することを望む、意欲のある学生を対象とする。